

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3471503692
法人名	有限会社 どんぐり村
事業所名	グループホームどんぐり村
所在地	広島県福山市今津町1456-1 (電話) 084-933-6138
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年11月21日

【情報提供票より】(平成21年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 7月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 常勤 3 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 7.22人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての 1階 ~ 2階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

(4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 84.55 歳	最低	74 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤井クリニック・ひろおか医院・荒木歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くは川が流れ河川敷もあり、静かな住宅街に位置していて地域に密着したグループホームである。事業所の理念として「ゆっくり・たのしく・自分らしく」を掲げて職員は業務に従事し、家庭的なゆったりとした雰囲気に入れ居る人も安心感を持って明るい雰囲気自由な日々を過ごしている。自治会にも加入し、地域の行事「亥の子祭り」「王子神社の秋祭り」には積極的に参加し馴染んでいる。誰でも気軽に立ち寄りおしゃべりしたり、また野菜等のお裾分けをいただいたりと、地域の住民として受け入れられている。管理者・職員は内外の研修も意欲的に参加し介護の知識や技術を習得しサービスの質の向上に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ホームは入居者にとって限りなく家庭的な雰囲気の中での支援に心がけており、家庭的な雰囲気を損ねないように配慮し、ホーム理念を「ゆったり・楽しく・自分らしく」を大きく書き出して支援している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は、評価に積極的に取り組み、自己評価の意義や目的を職員間で周知をはかり全職員で取り組まれている。自己評価による気付きをもとにサービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、本人・町内会長・地域包括支援センター・民生委員・家族・ボランティア・職員・管理者が出席し、ホームへの理解を頂く為にホームの日常生活や活動状況等説明が行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月ホーム便りを発行し入居者一人ひとりにホームでの様子を記載した便りと写真を添えて家族に送付している。家族からの意見は面会時や電話で対応している。また玄関口にご意見箱を設置し要望等には即時対応している。体調不良等の場合は、電話にて連絡している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会活動として「町内会シティクリーニング」に年5回参加している。地域の祭りや行事に積極的に入居者と共に参加し地域と交流している。また地域のお年寄りがホームを訪問し入居者と一緒に過ごされる取組をされており地域に開放されている。また入居者は、近隣のお寺・河川敷に散歩に出かけたり、スーパーに買物に出かけたり、カラオケに行ったりしている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの必要性を早期から認識され、地域生活の継続支援に取り組み、基本的理念を「ゆっくり、楽しく、自分らしく」をホームの独自の理念として作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時にホーム理念が伝えられ理解が得られている。なお日常業務の中でも話し合いがされており、理念の実現に向け日々職員全員で取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の一員として町内会に加入されており、町内会行事(老人会・町内会シティブレーニング・秋祭り・元旦マラソン応援等)に積極的に参加している。またご近所の方が毎日遊びに来られ、開放された施設となっている。管理者は、地域から依頼を受け認知症についての理解を得るための講演に応じるなどしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は評価の意義や目的を十分理解している。自己評価は全職員で話し合い、入居者へのサービスの質の向上に生かしている。また、外部評価での課題についても検討し、具体的な質の向上・改善を目指している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催し、ホームの入居者の日常生活や運動状況等の説明を行っている。参加者は、町内会長、民生委員、地域包括支援センター、職員、家族などが参加して意見交換が行われ、サービスの質の向上に活かしている。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターの音頭で地区のグループホームリーダー会議に出席し情報交換を行っている。市の介護保険課とも運営上の課題について相談したり、情報意見交換している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族訪問時に入居者の介護、看護についての状況報告が行われている。また遠方の方には、電話連絡により様子を伝えたり、ホーム便りと日常生活の写真を同封し様子を伝える配慮がされている。入居者の特変事には速やかに連絡を取り対処される等ご家族との連絡が密にされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見等は運営推進会議や面会時に聞き、指示連絡ノートに記録して全職員で共有している。また意見箱の設置や苦情相談受付担当を配置し要望等には、月1回の職員会議で全職員で改善策を話し合って即時対応し、質の高いサービスに繋がるよう取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は無くホーム内は、担当制をとっており、入居者との馴染みの関係を大切にしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を立て外部研修には費用を支給し参加しやすい配慮をしている。外部研修の案内は職員が見やすい位置に置き職員のスキルアップに取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム連絡会に参加し意見交換や情報交換をし交流している。また近隣のグループホームと職員の意見交換会を開き交流をしている。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>相談から利用に至るまで短期間のため本人の不安、混乱を軽減するためスタッフは、にこやかな表情、明るい笑顔、たのしそうな雰囲気、家庭的な雰囲気を心がけ十分コミュニケーションを図っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩であり、その人らしさを保つ事を忘れず家族の一員として接している。また入居者に寄り添い声掛けや体調確認をしたり、表情より訴えを察知し共に支えあう関係作りをしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者への日々の関わりの中から、ことば・表情・行動より入居者一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努め支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員でアセスメントを行い本人、家族、職員のケアの思いや意見・課題を反映した個別の介護計画書が作成されている。状況に変化があった時には、計画の見直しをしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月の職員会議で評価を行い6ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っている。この間でも状態の変化が生じた場合には、職員、医療機関、家族との協議により介護計画を見直し、家族の同意を得ている。</p>		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の都合や入居者の希望により、かかりつけ医の通院介助や美容院への送迎など行っている。また公民館でのお茶会への参加を支援している。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の掛かりつけ医が24時間体制で対応し、月1回の定期往診を実施しており、利用者家族、職員の安心感は大い。また看護師を配置しており即対応が可能である。歯科医師も往診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合や終末期のあり方についての考え方、入居者や家族との話し合い、意思確認などの方針、看取りの指針について、家族に説明している。重度化した場合は、かかりつけ医と相談対応し入居者の状態を職員全体で共有している。すでに看取りを実施している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会や日々のミーティングにおいて入居者の尊厳の保持、誇りに配慮し、ことば掛けに留意している。プライバシーを損ねない対応に向け職員の意識向上が図られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の基本的な流れはあるものの、個々の入居者一人ひとりの生活リズムを把握し希望や体調、気分配慮しつつ入居者のペースに合わせた個別な支援がおこなわれている。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本的なメニューは決まっているが、入居者の食べたい物を聞いたり好みのもを食べてもらうようにしている。食材は、管理者が自前で野菜や米を作り提供し、魚も地元の市場で調達している。また近隣の方が野菜など提供していただき、入居者と職員と一緒に食事作りを行い同じ食卓に付いている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴予定日は週3回と決まっているが、希望があれば毎日の入浴も可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は入居者の得意としていることや力量を把握されており、場面場面で役割の支援がされており入居者が生き生きと生活している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所周辺のお寺参り川沿いの散歩や外出は、入居者の気分や状態、天候に応じて積極的に支援している。また買物やカラオケ、美容院にでかたりする支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない暮らしの大切さを認識されており、訪問当日居室や玄関に施錠されていなかった。どこからでも外出できる環境作りに配慮すると共に最大限の安全性を確保して自由な暮らしへの支援がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を見つけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害時の対応マニュアルを作成している。入居者と職員が参加して年2回の避難訓練を実施し記録を残している。年1回は地元の消防署に協力して頂き避難訓練と消火器の使い方の指導、避難経路の確認など行っている。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養・水分摂取量(1日約1500cc)を記録し、入居者一人ひとりの1日の状態を全員で把握し、情報を共有している。また入居者の身体状況を把握した献立が立てられ、形状に配慮した食事が提供されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>訪問時ホーム玄関には季節の花が生けられ、ご家族や地域の方々が気軽に訪問できる雰囲気作りに配慮されている。廊下や居間には、様々な壁掛けや、年間行事で楽しまれた写真や記事が飾られ入居者が自由に居場所の選択が出来る工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の居室には仏壇・家族写真・使い慣れた家具・趣味を生かした飾りつけ等が持ち込まれ個性的な居心地の良い居室となっている。</p>		